

フリガナ 氏名	トウジョウ モトアキ
	東條 元昭
企業・団体名	大阪府立大学
所属 (企業・団体の)	生命環境科学研究科
役職	教授



略歴	岩手大学農学部農学科卒。大阪府立大学大学院農学研究科博士後期課程修了後、同大学助手、講師、助（准）教授を経て2017年教授
専門および得意な分野・研究	専門は植物病理学。教育・研究の傍ら、技術士（植物保護）および植物医師として主に企業向けに植物病害対策のコンサルティングを行っている。
セミナータイトル	養液栽培における病害の診断と防除
セミナー概要	養液栽培で病害を起こす病原の種類と感染様式は多様で巧妙である。発生予測や防除が難しいが、病原の種類を特定しそれぞれの発生生態に合わせて対応すれば対策は可能である。一方で養液栽培システムによって病原の種類や感染様式が異なることから、施設のタイプによってどのような病原が発生し易いかを予想できる場合も多い。発生し易い病害を予測し予防策を講じることが養液栽培で病害を起こす病害対策のカギとなる。養液栽培では薬害も発生するため、病害との区別することも重要である。このセミナーでは養液栽培での病害発生の具体例を取り上げて診断と防除の要点を概観した後に、受講生の質問に答える形で、個々の受講生が抱える問題事例の解決策をいっしょに考えたい。
講演中のキーワード	水媒伝染、遊走子、養液 pH、無農薬管理、養液温度、一次伝染源
本セミナーで習得できること	<ul style="list-style-type: none"> ・病原体の種類、感染経路、感染しやすい環境を知ることによって養液栽培の病害を予防することができる。 ・導入予定の養液栽培システムでどのような病原が発生し易いかを予想し、設計段階から対策を立てる。 ・植物をこまめに観察し、発病の始まりを見逃さないことで、病原体の増加・定着を最小限にすることができる。